

ジャカッと雀<small>くら</small>「しゃかりきしゃにむにしゃがむガム」

桑森ケイ

ローズ ゲストハウス住人。退去予定のバックパッカー。
フォルテ ゲストハウス住人。料理担当。留学生。
ジュリ ゲストハウス住人。飲食店で働く。
ダン ゲストハウス住人。夜の輸送会社倉庫で働く。
サクラ ゲストハウスにやってくる新入居者。
イブキ ゲストハウスで働くアルバイト。日本人学生。
ガイ ゲストハウス管理人。日本人。
桑森 雀工業広報部。日本人。

■1 【前説】

雀工業社員、桑森による前説。

桑森

本日は雀工業新製品「シャカリキ」プロモーションドラマ上演会にお越しいただきまして誠にありがとうございます。司会を務めます、広報部桑森です。よろしく願っています。ご入場の際に皆さまにお配りした、こちらの一見チケットのようなものが、弊社翻訳機ライン新製品「シャカリキ」でございます。ポケットやカバンの中など、身近に持っているだけで、聞こえてくる外国語、また話す言語を自動で瞬時に、適切に翻訳します。この薄さと、耳を介さずに使用できる点が注目の製品となっております。本日は、この「シャカリキ」のパワーを体感していただくべく、弊社演劇部が実際に外国語が飛び交うシーンを想定し製作した演劇作品をご覧くださいます。どうぞごゆっくりお楽しみください。それでは、上演に移りたいと思いますが、先立ちまして、皆さまにいくつか案内がございます。まず、上演中は携帯電話、スマートフォンなどの電子機器は機内モードにしてください。電源からお切りください。また、撮影、録画、および録音は禁止とさせていただきます。後日上演作品の写真をHPに掲載いたしますので、そちらをご利用ください。非常の際はただちに上演、および上演会を中止し、弊社職員が皆さまを安全な場所へと誘導いたします。落ち着いての行動をお願いいたします。上演時間は約90分を予定しております。途中休憩はございません。もし上演中にお手洗いに行かれる場合、もしくは気分が悪くなられた場合は、皆さまの後方、通路の階段を上ったところに職員が控えておりますので、ご相談くださいませ。それではたいへんお待たせいたしました。ジャカッと雀「しゃかりきしゃにむにしゃがむガム」只今より開演いたします。

■2 【水曜日夕方】

舞台上は中央に大きめのテーブルがあり、上手奥にキッチン、下手には本棚やソファなど生活感がありつつも、どこか落ち着きづらいちぐはぐな雰囲気。日本のゲストハウス「スパロウコーポ」のリビング兼ダイニング兼ロビー。

舞台上にはジュリ、ダン、イブキ。

退去予定のローズへビデオレターを撮影中。

ジュリ

ローズ〜！とうとうこの日が来ちゃった。えーと、ローズにはいっぱい感謝してます。毎朝起こしてくれてありがとう、髪乾かしてくれてありがとう、いつも話聞いてくれてありがとう、酔ったときの介抱ありがとう、あとTシャツありがとうでしょ、おすすめのお店いっぱい教えてくれてありがとうでしょ、……えーと、あとなんだっけ？

ダン

OK、シャンプー貸してくれてありがとう、マンガ！熱演付きで読み聞かせてくれてありがとう、えーと……

ダン

サンダル。

ジュリ

ああ、可愛いサンダルありがとう……。……。

ダン ……。
 ジュリ ん、まだまだ足りないんだけど……
 ダン 十分。
 ジュリ え、そう？
 イブキ はい。
 ジュリ ん。えーと、とにかくとにかくありがとう！ コーポでの暮らしはローズ居なかったらやばかった！ うん。出会えてよかった。またね！
 イブキ はい。
 ジュリ ふう。
 ダン なんかわね、こうやってひとつひとつ言っていくと、安っぽくなるな。
 ジュリ そんなことないでしょ。
 イブキ ジュリさんっぽくてよかったと思いますよ。
 ジュリ えへ。
 ダン 悪いけど何個か言っていないよ、歯ブラシとか。
 ジュリ あ！ 歯ブラシ！ 言っちゃった！ ちょっとイブキちゃん、もっかいカメラまわして。
 イブキ はい。
 ダン いやもういいんじゃないか？
 ジュリ だめだよ。感謝は伝えなきゃ。
 ダン 多いよ。どうせもらったんだろ？
 ジュリ ううん、もらったんじゃないかって借りてた。
 ダン ……借りてた？
 ジュリ うん。毎日。
 ダン ……歯ブラシ。
 ジュリ うん。
 ダン え、それローズ知ってる？
 ジュリ うーん、ローズ朝出るの早くて私とズレてるから知らないんじゃないかなあ？
 イブキ ……じゃ、つぎダンさんですね。
 ダン おし。
 ジュリ ちょっと待ってよ！ 言い忘れたから！
 ダン 言わなくてよろしい！
 ジュリ なんでよ、ありがとうは言わなきゃダメでしょ。
 イブキ 言わないほうがいいこともあります。
 ジュリ イブキちゃん！？
 ダン お前のところでは普通なの？
 ジュリ なにが。
 ダン いや歯ブラシの貸し借り。
 ジュリ え？ するでしょ仲良かったら。
 ダン ……しない。
 イブキ 絶対イヤ。
 ジュリ 信じらんない。
 ダン ローズもイヤだと思う。
 イブキ はい。
 ジュリ え、じゃあTシャツは？
 ダン あ、これも借りてたの。
 イブキ ……まあアリです。
 ジュリ シャンプー。
 ダン まあまあ、
 イブキ アリでしょうね。
 ジュリ サンドル。
 ダン 人によるけど
 イブキ アリですね。
 ジュリ 歯ブラシ。
 ダン 絶対
 イブキ ナシ。

ダン 不衛生。
イブキ ありえない。
ジュリ なんですよ！
ダン なんでもなにもねえんだよ！
ジュリ 愛じゃん！
ダン 愛！出た！
イブキ まあでも、こういうのは、文化、ですよ。ところによっては、まあ。
ジュリ そう！
イブキ でも私はイヤです。
ジュリ イブキちゃん！
ダン 俺も。もうやめるよ。
ジュリ でもさ、歯ブラシないんだよね。
ダン なんだなんだ。
イブキ いっぱいありますよ。
ジュリ そうなの？
イブキ ゲストハウスですからね。宿泊施設なんで一応。
ジュリ ヘー。
ダン それはちよつと分かんないわ。
イブキ あとで出すんで、選んでください。
ジュリ はーい。
イブキ じゃ、ダンさんいきましようか。
ダン よし。
ローズ ただいま。
イブキ あ。
フォルテ ダンいるー？
ダン いるー。ちよつとあとで。
イブキ はい。

ダン退出、ローズ入場。

ローズ ただいま。
二人 おかえり（なさい）。
ローズ なんかさー、ブルーレタス行くのも最後かと思うと寂しくなっちゃった。
ジュリ 愛着？
ローズ あるよねさすがに。

フォルテ入場。

フォルテ はーいはい。あ、ジュリもいたの。
ジュリ 今日休みにしたー。
フォルテ いいねえ。手伝ってー。
ジュリ もちろくん。
ローズ なんか駅前、どんどんできてたね。
フォルテ 土曜オープンらしいよ。
イブキ へえ。
ローズ すごい綺麗だった。なんていうの、あれ。モールみたいな。
イブキ 複合商業施設、ですかね。
ローズ それだ、もうちよつと早くできたら良かったのに。
フォルテ どうせすぐ寂れるんだから大丈夫よ。
ジュリ そんなこと言わないの。

ダン入場。

ダン 買いきすぎじゃねー？

両手に大きなビニール袋を提げている。

フォルテ 今日特別でしょ。
ローズ ダン、ザンダバ作ってよ。
ダン だよな、これは。
イブキ 久しぶりですね。
ダン 手間かかるからな。
フォルテ 材料多分足りると思うんだけど、
ダン オッケー任せろ。
ジュリ 荷造りは？
ローズ ほぼ済んでる。あ！

ローズ退出。

フォルテ 撮れた？
ジュリ ああ、うん。あたしはー。ダンはまだ。
フォルテ え、間に合うかな。
ダン なんとかするよ。
イブキ 流す順番はどうしますか？
ダン ……付き合い短い順？
フォルテ え、あたし先頭？
ジュリ ねえねえ、イブキちゃんも撮ろうよ。
イブキ 私がいいですよ。
ジュリ ちよっとでいいからさ。
フォルテ ガイにももらってるしね。
イブキ そうなんですか。じゃ、録れそうだったら。
フォルテ それ録らないやつじゃん。
ジュリ よろしくね。
ダン あれ、フォルテ、

ローズ入場。

ローズ やっぱり全然乾いてないんだけど！

ローズ退出。

イブキ 乾燥機ないですもんねここ。
ジュリ 地味に不便よね。
ダン なあ、パスブがねえよ。
フォルテ え、もう残ってなかったっけ。
ダン 滅多に作らないからさ、いつも使い切ってるんだよな。
フォルテ そっか。ごめん。
ダン いや、いいよ。買ってくるわ。

ローズ入場。カゴにはたくさん洗濯物。

ローズ ちよっとランドリー行ってくる。
ジュリ すごい量だね。
ローズ 全部綺麗にしちゃおうと思ったらさ。
ダン 半分持つよ。
ローズ ほんと？ 助かるー。
イブキ ジュリさん歯ブラシ取りに行きましょうか。
ジュリ あ、そうだね！

フォルテ あ！ストップ。ジュリ、パスブ分かる？
ジュリ 緑の。
ダン いやオレンジだけど。
フォルテ うん、ダンはずんだバの準備してほしいからさ、ジュリ代わりに買ってきてもらってもいい？
ジュリ あー。
ダン 別にそんな……
フォルテ ちよつとでも早いほうがいいでしょ。
ダン まあそうね。頼める？
ジュリ おっけー。
ダン オレンジのやつね。
ジュリ 覚えた。行こう、ローズ。

ローズ、ジュリ退出。

フォルテ ビデオ撮っちゃって。
ダン ああ、そういうこと。
フォルテ 時間なさそうだし。
ダン ちよつと待って、一応肉漬けてから。
イブキ 手伝いましょうか。
ダン いや！イブキちゃんは。
フォルテ うん。今日はいいよ。
イブキ でも、手すぎですし……
フォルテ そうだ、あとでビデオあるから、化粧してきたら？
ダン それがいい。
イブキ ああ、たしかに。
二人 うん。
イブキ ありがとうございます、してきます。

イブキ退出。

ダン ……あぶねー。
フォルテ イブキ、料理だけはね。
ダン うん。足引っ張られてる時間ないわ。
フォルテ そうそう。
ダン ……にしても多いな。
フォルテ 張り切りすぎちゃったかな。
ダン いいじゃん。パーティって感じ。
フォルテ あんたも嬉しいでしょ。
ダン まあ、パーティは好きだ。
フォルテ じゃなくて。
ダン なに？
フォルテ ローズいなくなんの。
ダン ……なに言ってるんだよ。

イブキ入場。

イブキ 私化粧してるじゃないですか。
フォルテ あ、ほんと？ナチュラル美人すぎて気づかなかったわ。
イブキ え？もー。
二人 ふふー。
イブキ さあ、なにからしましょう？
フォルテ いやほんとに良いよ、
ダン お気持ちだけいただいとくね。
フォルテ いっぱい作らなきゃいけないからね。

ダン おい、
イブキ ？ だからこそ……
ダン だからこそ、うん、だからこそ、見ててそこで。
イブキ ？
ダン 応援が励みになるから。
フォルテ めっちゃ大事。
イブキ わかりました。

間。
ダン、フォルテ、料理中。

ダン あんた「も」って、なに。
フォルテ んー？

間。
ガイ、入場。

ガイ ただいまー。
イブキ おかえりなさい。
フォルテ おかえりー。
ガイ もう作ってるんだ。
ダン うん、ザンダバ。
ガイ いいねえ。がんばって。
ダン おう。

ガイ イブキちゃんは明日昼からで大丈夫だったよね？
イブキ はい、ベッドメイクですよね。
ガイ うん。よろしくね。

フォルテ あー、新しい人か。
ダン 明日もパーティだな。

フォルテ どこの人？

ガイ えっとね、サクラさんって……どこだったかな。ああ、カガドノの人だね。

フォルテ え？
ガイ カガドノ。

フォルテ ちよっと待って、ここはさ、セノーブの人専門のゲストハウスじゃないの？

ガイ 国？

フォルテ 国というか、州？

ガイ ああ、特にそういうのは決めてないけど。

フォルテ じゃあこれからは決めたほうが良いわ。

ガイ なんで。

フォルテ その人ピピドウでしょ。

ダン あ。

ガイ 国？

フォルテ 国というか、人種？

ガイ ごめん、分かんないわ。

フォルテ 多分そうなのよ。たしか。

ガイ じゃあそうなんだろうね。

フォルテ ちよっと。

ガイ なに。

フォルテ えっとね、あたし、あんたもここも結構好きなんだけどさ、

ガイ おお。

フォルテ ゲストハウスのホストやろうってんならもっと勉強したほうが良いというか。
ガイ ？

ロビー着信。

イブキが出る。

イブキ はい、スパロウコーポ。ああ、ダンさん、ジュリさんです。
ガイ なにが問題なの。

フォルテ 分かりづらいけど、あたしチューキーじゃない。

ダン もしもし？ ああ、だからオレンジだってば。

ガイ 国？

フォルテ 国というか、民族？

ダン そうそう、その棚の。左下のほうに。うん。

フォルテ 昔あったのよ。対立というか紛争というか。

ダン うん、結構急いでほしいかも。もうすぐ使いたいわ。

ガイ むかし。

フォルテ うん。昔。

ダン (電話を切り) 聞いたことあるぜ。チューキーとピピドゥの話。

フォルテ でしょ。

イブキ 最近はこちらへん、デロンガでは問題にならなくなってきたって習いましたけど。

ガイ デロンガ。大陸だ。

フォルテ 真面目な話してるんだけど。

ガイ はい。

ダン 諍いの状態も通り越して、お互いに居ないものとして暮らしてるって。

ガイ ふーん。

ダン 言い伝えくらいに思ってたけど、まだあるんだな。

フォルテ 昔は離れてたから良かったんだろうけど今だから逆に、みたいな。チューキーでも人による

かも。うちはそういうのうるさい家庭で。

ダン へえ。

フォルテ お父さんが厳しくてさ。接触はおろか同じところにいるのもあんま良くない。

ダン うわあ。

ガイ でもさ、ここは別じゃない？

フォルテ う〜〜〜ん。

ガイ そんなにか。

フォルテ ……ほんと申し訳ないんだけどさ、ちょっと、その人キャンセルとかできないかな。

ガイ あー、無理だな。

フォルテ やっぱそうよね……返金するなり他のところ斡旋するなりも無理？

ガイ もう使っちゃったんだよね。

フォルテ え、お金？

ガイ うん。

フォルテ 全部？

ガイ うん。

フォルテ なにに。

ガイ ホームプラネタリウム。

フォルテ ……。

ダン まあここには合うかもな。

ガイ いやローズにプレゼントしようと思って。

フォルテ ばか。バックパッカーにそんなもんあげてどうすんのよ。

ガイ テントで眺めたら落ち着くだろ？

フォルテ 荷物かさばるじゃないの。

玄関のチャイムが鳴る。

イブキ はい。

イブキ退出。

ダン なんか届くの？

ガイ さあ。
フォルテ ん、どうしよう、あたしもうちちょっとここ居たいんだけど。
ガイ 居たらいいさ。
フォルテ あんたねえ、

イブキ入場。

イブキ あの……
ガイ ん？

サクラ入場。

イブキ あ、えーと、
イブキ サクラさん、です。
ダン え？
サクラ こんにちは。
ガイ ……えーと、こんにちは、はい、サクラさん。あれ、えーと、明日から、だよ？
サクラ はい？
ガイ いや、ここ。
サクラ ？ 今日からになってたと思うんですけど……
ガイ え？
イブキ あ、ガイさんこれは、
フォルテ サクラさん！
三人 え？

ジュリ入場。

ジュリ パスプ入りまゝす。
フォルテ あのえつと、あたしフォルテです。ここに住むんですか？
サクラ あ、はい、そうなんですけど……
ジュリ ダン？
ダン 待って、
フォルテ ガイ、サクラさんじゃん。
ガイ いやいや。
ジュリ あ、新しい人？
イブキ ジュリさん！
ジュリ ……！？
フォルテ あ、えつと、紹介します。ガイ。だいたいあつちの部屋にいます。フラフラしてるけど、たまにいいヤツです。このホストなので、なんかあつたら彼に。
ガイ あ、はい。
フォルテ ダン。夜働いてるから、生活リズムがズレてます。ここでの暮らしは彼が一番長いので、なんかあつたら彼に。
ダン あ、うん。
フォルテ イブキ。あたしと同じ大学に通ってます。アルバイトでいろいろお世話してくれるので、なんかあつたら彼女に。
イブキ あ、はい。
フォルテ ジュリ……です。
ジュリ なんかつたら私にも。
サクラ はあ。
ダン うん、ちょっと一旦……
フォルテ サーボ、
三人 サーボ？
サクラ あ、えーと、
フォルテ 毎日観てます。

三人 毎日。

ダン あ、ひよつとして……

サクラ あの、えーとですね、

フォルテ サクラさん、ユアニッチで料理のサーボあげてるの。

ジュリ すごい！ 有名人？

サクラ いや……

フォルテ あたしすごい参考にしてて。

ダン はあ。

ガイ なんだ。

イブキ 納得。

フォルテ まさか日本に来てるなんて。

サクラ えっと、その……ありがとうございます。

ジュリ フォルテいつも観てるもんね。

ガイ そしたら握手とかしてもらったら、とりあえず。

フォルテ あ、えーと、あ、ん……

二人 ああ、

サクラ ？

ダン サクラさん、ごめんね、この人チュー

フォルテ チューインガムが大好きで。はい。めっちゃ好きなんすよ。サクラさんはガム嫌いじゃない

ですか、めっちゃ言ってますもんね。だからはい、握手なんて滅相もございませんというか

ほんと申し訳ないというか

なに言ってるんの、ほら

ジュリ ジュリさん！

イブキ そうだよフォルテ

ガイ ガイさん！

二人 ……。

サクラ ガムはまあ、そうですね。

フォルテ ですよねえ！ ダン、まだ内緒で。

ダン ごめん。

ジュリ ねえ、どういうこと？

ガイ 全然分かん。

イブキ あの、ひとまず、一旦落ち着きませんか。どうぞ座ってください。コーヒーでいいですか？

サクラ ありがとうございます。

サクラ以外、イブキをじっと見ている。

イブキ あ、お二人は料理の続きをどうぞ。

ダン ああ、そうだった。

フォルテ りょうり。

イブキ え？ えーと、ガイさんはちょっと部屋とかどうするか考えてください。

ガイ はい。

ジュリ ジュリさんは……なんかテキトーに。

イブキ せつない！

フォルテ やばいやばいやばい。

イブキ ガイさん。やっぱそれ……。

ガイ うん、もうこのままいこう。

イブキ あ、はい。

ジュリ 手伝おうか？

フォルテ あうんお願い。ちょっと待ってね、えーと、やばい、え、サクラさん食べるのかな。どうし

ダン よ

フォルテ 落ち着けよ。

ジュリ え？ 落ち着いてるよ大丈夫。大丈夫大丈夫。うん。

フォルテ はい深呼吸！

フォルテ すー！ はー！ よし！

ダン ……。
イブキ バタバタしてすみません。
サクラ いえ全然。
イブキ 今日はパーティなんです。
サクラ ああ。
イブキ 誰かが出たり新しく来たりする日は。今日は主役が二人ですね。
ダン ジュリ、パスプ。
ジュリ あ、パスプ入りまゝす。
サクラ 出る人がいるんですね。
イブキ はい、ローズさんっていうバックパッカーの方で。

ローズ入場。手にはなにも持っていない。

イブキ あ、ローズさん。あれ、
ガイ よし、サクラさん。そしたらね、
ダン ん？
ガイ おお、ローズ。いよいよだな。
ダン おいジュリ、これ、
ローズ ごめんみんな。
ガイ ん？
ローズ ちょっと私まだ出られなくなっちゃった。
全員 ……？
ローズ 洗濯しちゃった、パスポート。
全員 え？

暗転。

■3 【木曜日朝】

暗転中にローズ、フォルテ、ジュリ、ダンが装束をまとい口ウソクを灯し入場。
円をつくるなど儀式的なムーブメント。その中心にはガイが座っている。
ソファがフォルテの寢床と化している。

サクラ入場。明かりをつける。
明転。

全員 あ。
サクラ あの、ごめんなさい。
フォルテ あ、いやいや、
ダン うん、気にしないで。
サクラ でも、えーとなんか
ローズ 大丈夫大丈夫。大したもんじゃないから。
フォルテ はい、ほんとに。
ダン 今日はもういいな。
ローズ うん。
ジュリ サクラちゃんおはよ。
サクラ おはようございます。

ダン退出。

ガイ あー、みんないろんなバックボーンがあるから、その折衷案というか、いろんなとこの文化
サクラ しきたりをごちゃ混ぜにしたそれっぽい儀式を毎朝やるようにしてて。
フォルテ はあ。
フォルテ 伝えてなくてごめんなさい。

ジュリ 昨日はバタバタしちゃったもんね。
ガイ うん。バタバタした。
フォルテ 嫌味？
ガイ あ、フォルテ、昨日さ、サクラさん歓迎パーティの予定だったんだけど、なんか動転してめちゃクチャなもん作ってる人がいてさ。大変だったよな。
ローズ うん。
フォルテ へえ。
ジュリ まあまあ、
ガイ ザンダバも食べたかったなあ。
ジュリ ……。
サクラ ああいう人だったんですね。
ローズ そうなの。最低でしょ。
ガイ いやちげーし！
ジュリ あはは。
ガイ まあ儀式については明日から一緒にやりましょう。
サクラ あ、はい。
ジュリ 人が出入りするたびに変わるんだよ。
フォルテ ……。
ローズ でも、義務とかじゃないから。
ガイ うん。やりたかったら、っていうルールなので。今晚話しましょう。

ダン 入場。

ダン じゃ、おやすみ！。
何人か おやすみ！。

ダン 退出。

ジュリ あたしも。シャワーもらいます。
ガイ はい。

ジュリ 退出。

フォルテ サクラさんもなにか食べますか？
サクラ あー、そうですね、
ガイ あるもの好きに食べていいですよ。外でもいいし。
ローズ ここらへん美味しいお店いっぱいあるよ。
フォルテ というかローズ。
ローズ うん。昨日までのつもりだったから今日はなんにも。
フォルテ いいね。
ローズ いや良くはないけど。
ガイ まあでも、ちょっと延期になるだけで済みそうで良かったじゃんか。
ローズ うん。もうちょっと、お世話になります。
サクラ あ、大丈夫でした？
フォルテ あ、はい！ 結構快適でした。
ローズ はい！
フォルテ ほんと？
ローズ ほんとほんと。
サクラ ごめんなさい。
フォルテ なんて！ ほんと大丈夫ですから！
ローズ サクラちゃんが謝ることじゃないし。
ガイ それローズが言うのもなんか違うけど。
フォルテ いやほんとこいつのせいなので！ 謝って。
ガイ すんません。
フォルテ なにそれ。ちゃんとして。

ガイ やだね。
フォルテ はあゝ？ 謝んなさいよ！
ガイ ふん！
フォルテ ガキくさ。もううんざり。あんたなんて……
ガイ あ、おい、待てよフォル子。
フォルテ もう知らない！
ガイ フォル子……
フォルテ 謝る？
ガイ グスン。……うん。
フォルテ はい、ごめんごめんして。
ガイ ほ……僕の……僕のせいで……
ローズ サクラちゃん今日は？
二人 おいっ
ローズ 飽きた。
ガイ はあゝそういうとこだぞ。
ローズ なにが。意味分かんないでしょ、急に。サクラちゃん置いてけぼりじゃない。
ガイ これがコーポ流の歓迎だろうがあゝ
ローズ そういう押しつけみたいなのがもう古いつて言ってるのおゝ
ガイ なんだおめえ気取ってんじゃねえぞおゝ？
ローズ そうやって時代に取り残されてればいいんじゃない？
ガイ あゝゝゝゝん？
ローズ （フォルテに原稿を手渡され）互いのプライドを賭けた熱き戦いが、いま、始まる……！
サクラ ディー……？

フォルテのアラームが鳴る。

フォルテ あ、
二人 おいゝ！
フォルテ めっちゃごめん。

フォルテ退出。

ガイ 逆にタイミング良かったね。
ローズ うん。どう終わらせるんだろって思ってた。
サクラ あはは。
ガイ ま、ここはこんな感じの場所です。
ローズ ねえ、朝ごはん、どっか食べに行かない？
サクラ いきたい！……です。
ローズ あーん、いいよー。ローズって呼んで。
サクラ じゃあローズ。
ガイ 俺はガイさん、で。
ローズ ちっちゃい男。
フォルテ いってきまーす！
何人か いってらっしゃーい。

フォルテ通過。

ローズ 私たちも出よう。モーニングのうちに。
サクラ だね。
ローズ つていうかもう完璧じゃん。ごめん、ちょっと待っててね。

ローズ退出。

ガイ ……やってくれたな。
サクラ ひさしぶり。
ガイ ひさしぶり、じゃねーよ。
サクラ シンプルに日付間違えちゃった。
ガイ フォルテに助けられたわ。
サクラ あんただってなんで知らんぷりするのよ。
ガイ 面白かったら。
サクラ ちよっと。
ガイ おかえり。
サクラ うん。ただいま。痩せたね。
ガイ えゝ食べてるんだけどなあ。
サクラ どうだか。
ガイ いつまで居るの。
サクラ うゝん、ひと月くらいかなあ。
ガイ え、そんな居んの？
サクラ うん、飽きるまで。
ガイ やりづらいなあゝ。
サクラ いいよ、好きにやってよ。
ガイ オーナー様が居るんじや肩身狭いっすよゝ。
サクラ みんないい人だね。
ガイ うん。俺はなんかそういうのには恵まれるタイプっぽい。
サクラ あゝそうかも。
ガイ ……問題は、どうやってバラすか、だな。いまピドウになってるからね。
サクラ だよゝ。フォルテちゃんに申し訳ないなあ。
ガイ 実のところを知ったら喜ぶと思うけど。

ローズ入場。
着替えを済ませている。

ローズ よーし。
ガイ あっち居るから、出るとき一応声かけてー。
ローズ はい。

ガイ退場。

ローズ なに食べたい？
サクラ なんだろゝ。お米が美味しく食べられるところが良いかな。
ローズ おっけー、お米と、魚。
サクラ いいねえ。
ローズ 外食とかするの？
サクラ 全然する。
ローズ 一人でも行く人？
サクラ 行くよゝ。知らないお店にポロッと入ったり。
ローズ へえ。全然想像つかないなゝ。
サクラ えー？
ローズ 昨日作ってくれたスープだってほんとに美味しかったし。
サクラ あー、有り合わせだったけどね。
ローズ 有り合わせ世界の頂点獲れるレベルだったわ。
サクラ そんなことないでしょ。
ローズ あるよー。だからさ、そんな美味しいごはん作る人が他の人の料理楽しめるわけ？とか思っちゃう。
サクラ あー。別だね。完全に。
ローズ そうかなあ。
サクラ そうだよ、だって、ローズだってさ、バックパッカーなわけじゃん？

ローズ うん。
 サクラ ……待って、バックパッカーはちょっと例えづらいな。
 ローズ うん、秀でてるものがそんないない。
 サクラ 私も旅行してて。
 ローズ え、そうなんだ。
 サクラ うん。だから、勉強という情報収集というか。その土地土地のものは食べておかないとね。
 ローズ 納得。なんだあ、仲間だ。
 サクラ 実はね。
 ローズ 私もサーボやってて。
 サクラ やっぱり？
 ローズ うん。旅する人と相性すぎるじゃん。
 サクラ みんなやってるね。
 ローズ 私は日常っていうか、いろんなところ巡りながらブログみたいにゆるっと撮ってるの。ここへえ。
 サクラ ここでも撮るの？ あ、っていうか買い出しとか行く？
 サクラ あ、いや、今回はそういうんじゃないやなくて。あんま料理するつもりないの。
 ローズ じゃあ、ただの旅行？
 サクラ まあそんな感じ。休暇、みたいな。
 ローズ ……ていうかさ、サクラってにほ
 サクラ ちよっと待って！ 早いな。
 ローズ え？
 サクラ 早い。
 ローズ なにが？
 サクラ 私ってピピドウじゃないの？
 ローズ は？
 サクラ 私ってピピドウでしょ？
 ローズ そうなの？
 サクラ そうじゃないの。
 ローズ そうなの。
 サクラ そうなの。
 ローズ なんなの？
 サクラ にほ……
 ローズ 日本人なの？
 サクラ 日本人なの。バレんのはや。
 ローズ いや、なんとなくそうかなって。
 サクラ いや、隠してたわけじゃないんだけど、なんかフォルテちゃんとか勘違いしてるし、面白そうだからしばらくこのままでいいかなって。
 ローズ あ、あの感じはそういうこと。
 サクラ だから、まだみんなには内緒ね。
 ローズ 分かった。
 サクラ なんとというか、帰ってきただけ、なんだよね。ちよっとゆっくりしようと思ったら、私のこ
 ローズ と知ってる人がいた。
 サクラ ゆっくりできないね。
 ローズ 嬉しいことだけどね。
 サクラ サーボとか観ても、どこの国の人か、とか分かんないもんね。
 ローズ そうそう、地元感を売りにしてる人じゃないと名乗らないでしょ、わざわざ。
 サクラ 私も、こんな世界になっただけじゃなかったらバックパッカーなんてしてないと思う。
 ローズ なんて？
 サクラ え？ 怖いもん。言葉通じないのとか。
 ローズ えー、それが楽しいところじゃん？
 サクラ うん。向いてないのかもしれない。単純に世界に興味はすごいあるし、どこ行ってもすごく
 サクラ 楽しいんだけどね。
 サクラ これのおかげだ。

ローズ うん。シャカリキさまさま。
サクラ 行こっか。モーニングのうちに。
ローズ そうだった。行こっ行こっ。ガイ？
ガイ はい。

ガイ入場。

ローズ 行ってきます。
ガイ 行ったらっしやい。
サクラ バレちゃった。
ガイ はや。
ローズ なんだ、あんたも知ってたの。
ガイ なんのこと？
ローズ めんどくさ。
サクラ ほら行こ、お魚が待ってるよ。
ローズ はい。

ローズ、サクラ退出。

間。

ジュリ入場。手にオブジェを持っている。

ジュリ センチヨグルルスパッポングルオツテサヌキトケリヨンオフ！
ガイ ……なんて？
ジュリ アオツ、

ジュリ退出、シャカリキを携えて再入場。

ジュリ シャワー浴びてたらなんか見つけた！
ガイ え？ なになに。

間。

ガイ これは……さっぱり分らない。

■ 4 【木曜日午前】

テーブルの上に3体の妙ちきりんなオブジェが並んでいる。
舞台上にダン、ジュリ、ガイ。

ダン 7つ。
二人 7つ。
ダン いや、7体。
二人 7体。
ダン 分かった？
ジュリ 分かった。
ガイ なんぞそんな、ポンポコ大王
ダン ポンポコデオング。この漆黒のフォルムに一つ玉が輝いてるだろ、絶対そう。
ガイ あ、うん。なんでここに？
ダン 知らん。
ジュリ あたしの部屋も昨日まで絶対なかったよ。
ガイ 戸締まりだっしてしてるし。
ダン これはもうほんとに、神秘的ななにかのせいとしか思えない。
ガイ いや急に？
ジュリ そうだよ、こんなになんの変哲もないゲストハウスに。

ガイ　　ちょっとそれはなんか、
ダン　　そういうもんなんだよ。俺も実物を見たのは初めてだ。
ジュリ　7つ集めると願いが叶うって？

ガイ　　それ！それが胡散臭いんだよ。
ダン　　なにが。昔から言われてんだよ。神話クラスだぞ。

ガイ　　いやうん、そうかもしれないんだけど、なんかね、7つっていうのと願いたいなのがね、日
ダン　　本人的にはたまんなくウソくさいんだわ。
ジュリ　知るか。
うん。

ガイ　　いやお前は知れよ。こないだ口ースに読んでもらってただろ、熱演付きで。
ダン　　なあ、もっかい探さね？

ガイ　　……。
ジュリ　いいよ、時間あるし。あたし今度こっち見るね。
ダン　　おし。

ダン、ジュリ退出。

ガイ　　おし。

間。

ガイ　　あ！

ジュリ　あつた？

ガイ　　ない！なんでもない！

間。

ガイは携帯電話を取りだす。

ガイ　　もしもし？ お前、やったる。なあ。お土産とかいって変なもん置いてったるこれ。え？そ
うこのポンポコ大王、夜な夜な設置したる。夜な夜な。盛り上がってるぞ今こっちは。なん
だよこれ。ん？いやだからこの人形みたいなやつ。よく見たらそこそこ可愛いじゃんこれ。
え？知らないことはないでしょ、うん。え、ほんとに？これサクラじゃないの？あそう、
あ、じゃ、なんでもないわ。モーニング邪魔して悪い。うん。

ダン、ジュリ入場。

ダン　　ない。もう絶対ない。

ジュリ　こっちも。

ダン　　ここは？

ガイ　　なかった。

ダン　　そうか……

ジュリ　これさ、3体のままでどうなんの？

ダン　　どうもならない。

ガイ　　……けど、なんかムズムズするな。

二人　　うん。

イブキ入場。

イブキ　おはようございます。

三人　　おはよう。

イブキ　あの、郵便受けに……（ト、手元のオブジェを見せる）

三人　　え！（ト、イブキにテーブルが見えるようにする）

イブキ　え！

ジュリ　今朝から急に。

イブキ
三人
え、待ってください、これ、ジャグーじゃないですか？

イブキ
三人
ジャグーですよ。7つ集まっちゃったら災いが降りかかるっていう。

ダン
イブキ
いやこれはボンポロデオングっていうやつで。この漆黒
いやこれは絶対ジャグーですよ。見てください、これ全部表情があるじゃないですか。
え？

ダン
ガイ
……言われてみれば。

ジュリ
ああ、これとか笑ってる。

イブキ
ガイ
いえ、それ、全部泣いてるんです。

イブキ
ガイ
泣き顔なんだ、これ。
はい。その涙が不幸を呼ぶんです。私の地元ではみんな知ってますよ。絵本もあります。今
ないですけど。実物は初めて見ました。
やっぱ見たことはないんだね。

ジュリ
ガイ
え、イブキちゃん日本人だよ、
はい。

イブキ
ガイ
7つ集めると……？

イブキ
ガイ
？ 災いが降りかかります。

イブキ
ガイ
違和感とかは……？

イブキ
ガイ
？ ないですね。

イブキ
ガイ
なるほどオーケー。

ダン
ジュリ
でもまだボンポロデオングの可能性残ってるからな。

イブキ
ジュリ
あ、この玉は？

ジュリ
ダン
分らないです。

ジュリ
ダン
この表情は？

ジュリ
ダン
分らない。

ジュリ
ダン
どっちだ……？

ジュリ
ダン
というか4つになった。

イブキ
ガイ
絵本では、ジャグーが出ちゃったら、隣の家押し付けるんですよ。

イブキ
ガイ
そんな回覧板みたいなの。

ジュリ
ガイ
え、じゃあこれも隣の家から来たのかな。

イブキ
ガイ
こんな大量に？

イブキ
ガイ
ありえますね。

イブキ
ガイ
ありえるか。そんなセキリティーガバガバじゃねーわい。なんだよこれ急に。どうなって
んだよ。

イブキ
ダン
あと3つで揃っちゃいますね。

ダン
イブキ
なあ、もしこれがほんとにそのジャグーだったとして、どんな災いが起こるわけ？

ダン
イブキ
そりゃあもう……

ダン
イブキ
そりゃあもう？

ダン
イブキ
どえらい……

ジュリ
イブキ
地震とか？

イブキ
ダン
いや、そんな大勢巻き込む感じではなくて
病気？

イブキ
ジュリ
うーん。近いですけど、もっと、広がらないやつです。

ジュリ
イブキ
めっちゃ痙攣が止まなくなるとか。

イブキ
ガイ
あ、そう、そういう感じだったと思います。

イブキ
ガイ
なんか……雑じゃね？

イブキ
ガイ
ごめんなさい、しっかり覚えてないです。

イブキ
ジュリ
いやイブキちゃんが、じゃなくて、災いが。

イブキ
ジュリ
そうですかね。

イブキ
ジュリ
願いは？

イブキ
ジュリ
そりゃなんでも。

イブキ
ジュリ
翼が生えるとか、

イブキ
ジュリ
さすがに無理だろ。

イブキ
ジュリ
さすがに無理だろ。

イブキ
ジュリ
さすがに無理だろ。

ジュリ 一生遊んで暮らせる。
ダン うーん、もうちょい下。
イブキ スタイルが良くなるとか。
ダン うん、そのライン。
ジュリ おお。
ガイ ……こっちも雑だなあ。
ダン 揃うのを待つか、揃わないようにするか。……どっち派？

間。
イブキがダン、ジュリの方へ行こうとする。

ガイ あんたはこっちの言い出しっぺでしょうが。
イブキ はい。

ダン なんだよ日本人。
ガイ あ、おい、その言い方は良くないぞ？
ダン だってそうだろう？

ジュリ 夢持ちなよ。

ガイ 災いのほうがイヤだろが。
イブキ ちなみに、どんな願いを？

ダン え……？ ジュリは？
ジュリ やっぱり美容系は惹かれるよね。でも、生活の安定も外せなくて。永住権じゃないにしても、定職、みたいな？

ガイ へえ。システム。

イブキ 意外と現実的。

ジュリ そうだよ？

ダン ジュリはそれでこっち来てるんだったもんな。

ジュリ うん。完全に出稼ぎ。

イブキ 珍しいですよね。

ジュリ まあね。

ガイ 叶うかもしれないのか。これで。

ジュリ うん。

ガイ 嘘くさいけどな。

ジュリ 信じるのはタダでしょ。

ガイ おお、いいこと言う。

ダン まあ、今は半々だし一旦保留だな。もっかい寝させてもらっわ。

ジュリ そっか、起こしちゃったもんね。

ダン うん、おやすみ。

ガイ ちよっと待て、ダンの願いは？

ジュリ え？

ガイ いや、うやむやになりそうだったけど聞いてない。

イブキ はい。

ダン なんでもいいだろ。

ガイ おいおいジュンクス人？

ダン あ？

ガイ ……願いは？

ダン ……実は地元に不治の病の妹がいて。

ガイ 嘘だね。

イブキ 叶うんですか？ そのレベル。

ダン ちよっと最近肩こりがヒドくて。

ガイ お前みたいな自由人がそれはないだろ。

ダン 日本のお札の見分けがつかないから直したくて。

ガイ 無理あるでしょ。

ダン ストレートヘアを楽しみたい。

ガイ お前がその天然パーマに誇りを持つてるのを俺は知ってる。

ダン 字が綺麗にかけるようになりたい。
ガイ 練習しろよ。

ダン 泳げるようになりたい。
ガイ だから練習しろよ。

ダン 歌がうまくならない。

ガイ だから、練習

ダン 納豆！……納豆が食えるようになりたいんだよ！

ガイ ……それは、練習してもしょうがないな。

ジュリ というか歌も割とそうですよ。

ジュリ 納豆、美味しいよね。

ダン それ。それが言いたいんだ俺も。

イブキ 苦手なんですネ。

ダン 無理だろあんな臭いの。

ガイ 言うだけ言ってみるよ。

え？

ガイ 「納豆、美味しいよね。」はい。

ダン 納豆、美味しいよね。

ガイ ……ダメだな。

ジュリ 心がこもってない。

イブキ 納豆を想像できてないです。

ガイ 完全に嘘だったもんね。

ジュリ 混ぜてるときのちよっと心躍る感じとか、

イブキ 分かります。今となつては当然で見過ごしがちだけどたまにふと思う、あの「あ、納豆食べ

るんだ私今から。」みたいなちっちゃな興奮とか、

そうだよ、あの一粒一粒の栄養価を愛でる眼差しで、

しっかりと想像して。

もう一回。

ダン 納豆、美味しいよね。

ガイ 嘘をつくなよ！！！！

ジュリ クソ！！！！

イブキ ダンさんって、意外と素直。

ね。

ジュリ 嘘つけないんだな。

ガイ うん、さっき言ってたのも全部ホントだし。

ダン え、お札の見分けつかないの？

ああ。

イブキ そういう人、居ますよね。

ジュリ 天パー、嫌なんだ。

ダン イヤじゃないけど、憧れはするよね。

ガイ 字、汚いんだ。

ダン 知ってるだろ。

イブキ 泳げないんですネ。

ダン 海のない国で育ったからな。

ガイ 言い訳じゃ〜ん。

ダン なあ、お前ほんとにゲストハウスのホストかよ。なんつーかアレが足りねえよ、配慮。

え〜？

ダン もっと、こう、なんつーかな、世界の広さ、みたいなのに敏感になれよ。

ジュリ たしかに、たまにそういうところあるよね。

ガイ あ、ごめん、これマジなやつ？

はい。

ダン あー、いや、そんな責めたりするつもりはないんだけどね、ちよっと、たまに、あるよ。

ガイ すまん。

ジュリ え、ていうか地元に不治の病の妹さんがいるの？

いま？

ジュリ　ごめん今思い出した。
ダン　いやいいけど。うん。実は妹がいて。今までいろいろ試したんだけど何やってもダメでさ。
ガイ　ベッタベタにベタだな。
イブキ　ガイさん、
ダン　そういうとこだぞ！？
ガイ　あ、すまん。
ジュリ　そりゃ願いたくもなるね。
ダン　ああ、一応治療費の仕送りはしてるんだけど。だから、俺も出稼ぎ。
ジュリ　そうなんだ。
イブキ　さっき、珍しいとか言ってごめんなさい。
ダン　いいいいよ、
ジュリ　うん、全然。
ダン　でもね、まだ今でも日本に出稼ぎ目的で来てる人は少しはいるよ。
ジュリ　あんまりみんな表向きには言わないかもだけど。
ガイ　叶うといいな。全部。
ダン　……これなんだよな。
ジュリ　全然心がこもってなかった。
イブキ　というか想像力そのものが欠けてるんじゃないかと思い始めました。
ガイ　え、なに、仕返し？
ダン　ちよっともっかい言って。
ガイ　え。叶うといいな。全部。
ダン　やっぱりなんかおかしいよな。
ジュリ　冷たい。
イブキ　ゲストハウスのホスト云々じゃなくて、人としてなんか。
ジュリ　怖い。
イブキ　もっと想像してくださいよ。いろいろな願いが叶った未来を。
ガイ　めっちゃ言うじゃん。

サクラ入場。

サクラ　ただいま。
何人か　おかえり！。
ガイ　手洗ってね。
サクラ　はーい。

サクラ退出。

ダン　つかマジで寝るわ。

ローズ入場。

ローズ　ただいま！。
何人か　おかえり！。
ガイ　早かったね。
ローズ　うん。またすぐ、え、それもしかして。
何人か　え？
ローズ　ゲヌオットじゃない？
何人か　え？
ローズ　ちよっと待って、なんでそんな集まっちゃってんのよ。4つ？　やばいやばいやばい。
ダン　ちよっとストップ、説明。
ローズ　いやストップしてる場合じゃないって。急がないと。
ガイ　いいからいいから。
ローズ　え？　どうなっても知らないよ？
イブキ　なんか、今までで一番大事みたいですね。

ダン これ、なんだって？（ト、手にとったオブジェを見せる）
ローズ わぁ！触ってる！ちよっと、まずいってほんとに。
ガイ 大丈夫だから別に。なんなのこれ。
ローズ ゲヌオット。あんた何者？ポヌーなの？
ガイ なに言ってるんだ。
ダン やっぱり7つ集まるとどうにかなる系？
ローズ 7つ？（動揺のうちにローズのシャカリキが落ちる）5個集まったらグランドポニユンクレ
スピピオットセルベテクルキオンダイシユンサクソレドムフヌグ
落ち着いてー。

サクラ入場。

サクラ なんか洗面所に。（ト、手にオブジェを持っている）
ローズ ポヌー！
みんな ローズ！！

■5 【木曜日午後】

テーブルの上に5体の妙ちきりんなオブジェが並んでいる。
舞台上にイブキ。洗濯物を畳んでいる。

サクラ入場。

サクラ 寝てる。
イブキ 良かった。
サクラ 死んじゃったと思った？
イブキ それは流石にないと思いましたけど、ありえましたね。
サクラ なんなんだろうね、これ。
イブキ サクラさんはなにか、こういう伝説ご存じないんですか？
サクラ 伝説？

イブキ ダンさんは7つ集まると願いが叶うポンポロデオング、私は7つ集まると災いが起こるジ
ヤグーだって言ってる。
サクラ なにそれ。ドラゴンボールみたい。

イブキ なんですか？それ。
サクラ え？

イブキ え？
サクラ イブキちゃん日本人だね？
イブキ はい。

サクラ 7つ集まると……？
イブキ 災いが降りかかります。

サクラ 似たようなもので思い当たるのは……？
イブキ ？ ないですね。

サクラ なるほどオーケー。
イブキ ちよっと待ってください、これさっきガイさんにも聞かれた気がします。

サクラ あそう。まあ日本人なら分かるわ。イブキちゃん知らないんだ。
イブキ はい。……まずいですかね？

サクラ いや、うーん、まずいっていうか、すごいよね。
イブキ え。

サクラ いや、バカにしているとかじゃなくて。うん。ごめんね、ちよっと間違えちゃった。多いよね。
イブキ マンガとか小説とか映画とか。知ってなきゃいけないもの。

イブキ マンガの話なんですネ。
サクラ マンガだけじゃないんだけど、うん。まあそういうものの。私もさ、ローズみたく世界中

サクラ 旅してるんだけどね、いろんなところでいろんな人と話すから、いろいろ知っていると得するこ
とが多いの。話も盛り上がるし。

サクラ 2週間。ホストファミリーがそんちょ……。 (目が合う)

イブキ カガドノの人じゃないんですね。

サクラ うん。二人目。

イブキ え？

サクラ 私。ピドゥじゃないの。ていうか日本人。

イブキ やっぱり。

サクラ やっぱり。なんだ。

イブキ はい、なんとなく。

サクラ ローズにも言われたんだよね。にじみ出てるかなあ。

イブキ いや、ほんと、なんとなく、ですよ。

サクラ そっか……。わたしガム苦手なのね。

イブキ フォルテさんが言ってたね。

サクラ あ、私日本人なの、一応フォルテちゃんには内緒にしまして。

イブキ 分かりました。

サクラ 汚い話で申し訳ないんだけど、ガム噛んだらお腹にガス溜まっちゃうのよ。だから嫌で。

結構どこ行っても、「友好の証に」みたいな感じでガム差し出されることが多いのね。

イブキ 小説みたいですね。

サクラ あ、小説は読んだ。

イブキ はい、少し。

サクラ 『お日さまさん晴れパラダイス』もおじさん二人の出会い頭にね、やんのよ、こうやって。「日を浴びながら噛むガムは格別だぜ。」んも、ホントはもっとおしゃれな言い回しなんだけど。別にこの映画好きじゃないけど。

イブキ 一応伝わりました。

サクラ うん。で、まあ私は、勧められても断っちゃうわけ。ごめんなさいって。ガムはさ、受け取るだけじゃなくてその場で一緒に噛むのが普通だから、それが良いんだろうね。共体験っていうの？でも私できないのよ。だからすごい申し訳なくて。

イブキ どうして世界を周ってるんですか？

サクラ お金があるの。

イブキ わあ。

サクラ 遊んでられるくらいあるの。お金が。

イブキ うわああ。

サクラ 引いた。

イブキ はい。

サクラ 冗談でもないんだけど、あんまり不自由ない人生送ってきて、そんなに世の中も知らなかったんだけど、でもやっぱり世界を股にかけて生きてる人はカッコいいなって思ってた。

イブキ それは分かりますね。

サクラ カッコいいじゃん。なんか。

イブキ はい。そういうひとつって、なんか自分を持ってるっていうか。

サクラ そう。そうなのよ。だから、そういう憧れが先。で、世界を周ってる。料理があと。料理はいいよ。どこでも人は食べないと生きていけないから、世界中で関心があるし、おしゃべりの話題も豊富なんだよね。わたし、ごはん屋さんでばかり現地の人と話すの。なんせ料理売ってる場所だからガムが出てくることもないしね。

イブキ なるほど。

サクラ なんかも、そういう引け目みたいなのが、出ちゃってんのかな。

イブキ 私も、国際系の学部ですけど、べつに世界に興味があるわけじゃなくて。

サクラ そうなんだ。

イブキ もちろんないことはないですけど、そもそも今はそんなような学部がほとんどだし、どこいっても世界について考えさせられるんですよ。もちろん大事なのは分かるし、憧れもあるけど、なんか、別に。話題が大きすぎてちょっと身近じゃないです。

サクラ うーん。でも、知っておくのは、やっぱり良いと思う。いろいろ行くのもいいけど、まずは映画、観たらいいよ。

イブキ はい、観ます。『お日さまさん晴れパラダイス』。

サクラ それは別におすすめてじゃないって。

イブキ じゃあ、観たいよ。

サクラ はい、観ます。『お日さまさん晴れパラダイス』。

イブキ それは別におすすめてじゃないって。

サクラ はい、観ます。『お日さまさん晴れパラダイス』。

イブキ それは別におすすめてじゃないって。

サクラ はい、観ます。『お日さまさん晴れパラダイス』。

イブキ それは別におすすめてじゃないって。

サクラ はい、観ます。『お日さまさん晴れパラダイス』。

イブキ それは別におすすめてじゃないって。

サクラ はい、観ます。『お日さまさん晴れパラダイス』。

イブキ それは別におすすめてじゃないって。

■6 【木曜日夜】

夜のコーポ。

舞台上はガイ、フォルテ。

ガイ バッチリだな。

フォルテ あたしはおばけ的なのに強いっていう設定になってる？
ガイ うん。

フォルテ 強くないから！

ガイ 俺たちは、フツーに寝るから。あとは頼んだ。

フォルテ あたしの睡眠時間はどうなのよ！

ガイ 若いんだから大丈夫だろ。

フォルテ 本当になにかが持ってくるわけ？これ。

ガイ わからないから、念のため。

フォルテ なにそれ。

ガイ 7個揃っちゃったらどうなっちゃうかほんとに分かんないから、マジでなんか来たらちゃんと追いついてね。撃退。多分、今晚がヤマだから。

フォルテ 警備が手薄。

ガイ 電気ついてると怖がつて来ないかもしれないから、消すぞ。

フォルテ 逆に点けといたらいいじゃないのよ。
ガイ じゃ、おやすみ！。

ガイ退出。

フォルテ ちょっと！

間。

フォルテ 信じらんないくらい薄情者しか居ないわ、ここ。

間。

物音。

フォルテ なに？ なんですか？ ……なんでもないですか？

間。

フォルテ なんであたししか居ないのよ。サクラさんとか面白がりそうなんじゃんこんなの。いやサクラさんに夜警させるとか恐れ多いけども。ほんとに、せっかく買ったのにケーキ！ あんたのせいだからね？ なんなの。ていうか不気味すぎない？ こわいこわいこわいこれ無理だちよっとガイ！

間。

フォルテ ローズ！

間。

フォルテ サクラさ〜ん？

物音。 静かに忍び寄る足音。

フォルテ ちょっと待ってほんとすいませんごめんなさい、勘弁してくださいムリムリムリムリ！

ジュリ入場。明かりを点ける。
明転。

ジュリ なにしてんの？
フォルテ ジュリ！は、何もしてないし。
ジュリ あ、そう。(ト、退出しようとする)
フォルテ ちよつと待ってジュリごめんあたしが悪かった、お願いしたいことがあるんですけど！
ジュリ え？
フォルテ あたしを愛で包んで。
ジュリ おうよしよし。(ト、ハグをする)
フォルテ よがっであゝ。
ジュリ 愛に包まれた？
フォルテ うん。
ジュリ よし。(ト、退出しようとする)
フォルテ ちよつと待ってって。なに。揃いも揃って薄情。薄情病？
ジュリ 寝るもん。
フォルテ 寝ない！あんたショートスリーパーでしょうが。
ジュリ そうだけどさ。
フォルテ ねえゝお願い、一緒に居てよ。
ジュリ 分かったよおゝ。今日だけだぞっ
フォルテ 今日だけだよ。今夜がヤマみたいだから。
ジュリ 6個めも出ちゃったんだって？
フォルテ そうなの。昨日のお詫びにでっかいケーキ買ってきたのに、箱開けたらこれが入ってた。7
ジュリ 個目が出ないように、警備してるの。
フォルテ え、それ、7個ない？
ジュリ え？……いや6個じゃんビビらせないで、
フォルテ ストップ。
ジュリ え？……もしかしてこれ振り返ったらひとつ、ある、的な。
ジュリ ゆっくり。

フォルテ、ゆっくり振り返る。

フォルテ ……いや無いんかい。
ジュリ 2段構え。
フォルテ よそでやれ。
ジュリ 聞いた？ダンとイブキちゃんの説。
フォルテ 聞いた。あたしは災い派。はい、ライトあげる。
ジュリ ん。てことは揃わないでほしいんだね。
フォルテ 当たり前でしょ、
ジュリ え、消すの？
フォルテ あえて。
ジュリ あえて？
フォルテ あえて、消そうよ。
ジュリ ……分かった。

暗転。

フォルテ 夜のコーポへようこそ。
ジュリ ノリノリじゃん。あたし寝るよ？
フォルテ 寝ない。なに、ジュリは揃ってほしいの？
ジュリ まあ、願いごとが無いわけじゃないし。無いの？願いとか。
フォルテ ない。
ジュリ フォルテ神さまとか信じてないもんね。
フォルテ うん。チューキーは祈らない。

ジュリ かけー。

フォルテ 朝の儀式は楽しいからするけど。いろんな人がいるから大きい声じゃ言えないけどさ、祈ったって仕方ないって思ってるよ。なるようになるし、ほとんど自分次第じゃん。ちょっと、消さないでよ。

ジュリ おばけは信じてるの？

フォルテ 信じてない、けど怖い。チューキーは祈らない代わりに、因果不明の不条理を怖れてるの。

ジュリ ふーん。

フォルテ でもあたしも、さつきちよつと真っ暗にしてみた。

ジュリ なんだそりゃ。

フォルテ ふふ。

ジュリ でもね、お祈りする良さもあると思う。

フォルテ どんな？

ジュリ 落ち着くんだよね。…なにか叶えてほしいとか、導いてほしいとか、そんなんじゃないの。それは分かってるけど。

ジュリ 家族も周りもみんなが一つの信仰を持ってるし、祈るときは誰かと一緒なのね。うちはそんなに厳格なものでもないし神さまも見守ってくれるだけ。でもそれでいいの。自分ひとりじゃないって心から信じられるだけでなんか落ち着けて、救われてるときあるなって思う。

フォルテ ……それは、幸せだね。
ジュリ でしょ？ なんかさ、職場で聞かれることがあって、「何のために宗教を信じてるんですか？」って。あたしこっち来るまでそんなこと考えたこともなかったよ。

フォルテ あたし日本人のそういうところ嫌い。
ジュリ ふふ。で、なんのためかなくって考えてて、ふと、思ったわけ。結局なにかのため、ってほ

フォルテ どでもないんだけどね。
ジュリ なるほどね。いいじゃん。

フォルテ うぎやっ

ジュリ なに。いた？

フォルテ カサカサって音がした。

ジュリ え……？

フォルテ つつて。

ジュリ 40点。

フォルテ ひく！

ジュリ 隣に来てドキッとしたけど、リアクションが可愛くなかったから大幅に減点。

フォルテ ちくしょう。

ジュリ あたしも落ち着きたーい！

フォルテ 儀式でなんとかして。

ジュリ あ、明日の朝は儀式じゃなくて会議するらしいよ。

フォルテ え、初めての催しじゃない？ なに話すの。

ジュリ 「7つ揃ったらどうするか」。

フォルテ あー。まあ朝しかみんな揃わないし。

ジュリ 会議したところであって感じだけど。

フォルテ ね。

ジュリ 今日の昼にお父さんからメール来てさ。

フォルテ うん。

ジュリ 来週日本に来るんだって。

フォルテ へー！ いいね。会いたい！

ジュリ ただのおっさんよ。そんなことよりね、サクラさんがピドゥでしょ。

フォルテ あ、へー。

ジュリ 知らなかったの？

フォルテ うん。聞いてない。

ジュリ あ、そう。まあいいわ。で、チューキーはピドゥとあんま接触しちやいけないの。

フォルテ あ、え、やばいじゃん。

ジュリ そうなの。だから、あたしも近々出ないといけないかもしれない。

フォルテ えー！ 来たばっかりなのに！

ジュリ 明日でちょうど3週間かな。大学も始まっているしあんまりバタバタしたくないんだけどさ、

ジュリ お父さん絶対ここまで来ようとするし、サクラさん追い出すわけにもいかないし。
でもまだここ居たいでしょ？

フォルテ 居たい。サクラさんと同じ時間を過ごしたい。

ジュリ じゃあ願うしかないじゃん。

フォルテ あれに？なんて？

ジュリ 「ここに居られますように」。

フォルテ そんなアバウトでいけるの？

ジュリ あー無理かもしれない。「お父さんが来ませんように」？

フォルテ 風邪で寝込むとか。

ジュリ 誰かの不幸を願うのはなんか嫌だね。

フォルテ だね。

ジュリ ……逆に災い。

フォルテ あたしも思った。なんか私に災い起きて会えなくなるとかだったらまだ。

ジュリ 災いを願うつもりでどっちかよく分かんないけど。

フォルテ たしかに。

ジュリ わあ！

フォルテ なに！

ジュリ 当たった！なんか当たった！

フォルテ もう飽きたよ？

ジュリ あああああ……！

フォルテ あ、ほんと。うしろ？

ジュリ ゆっくり。

フォルテ、ゆっくり振り返る。

フォルテ ……いや無いんかい。

ジュリ 80点。

フォルテ 自分で言うな。

ジュリ ちよつと最初のと似てたもんね。

フォルテ うん。

二人 はあ。

ジュリ 本当になにも起きないじゃん。

フォルテ ね。

ジュリ 寝ちやう？

フォルテ いやそれはさすがに……

ジュリ 明日も大学でしょ？

フォルテ そうなんだよねー。

ジュリ 30分だけ。

フォルテ これ絶対朝まで寝ちやうやつじゃん。1時間ずつ交代とかにしようよ。

ジュリ おお、警備っぽい。

フォルテ さき寝ていいよ。

ジュリ いやいいよ。

フォルテ 付き合ってもらっちゃってるしさ。

ジュリ そ。じゃあお言葉に甘えて。

フォルテ おやすみ。1時間後に起こすね。

ジュリ はーい。

ジュリ就寝。

フォルテ あ、もう寝た？切り替えはや。

間。

フォルテ はあ。

間。

フォルテ ジュリ、いびきかいてよ。これやばいわ。せめて物音ちよーだい。恐怖心かなにかで眠気に
対抗しないとやばい。

間。

フォルテ ああああ。

フォルテ、立ち上がりキッチンへ。飲み物を口に含み、オブジェの数を確認し、部屋全体を見回し、
元の位置へ戻る。その後、うつらうつらし、就寝。

暗転。

■ 7 【金曜日朝】

舞台上には全員が集合している。
明転。

ダン 帰ってきたら、二人で仲良くおねんねしてました。

二人 ごめんなさい。

イブキ まあ、増えてなかったから良かったじゃないですか。

フォルテ 逆になんで増えてないのよ。

ジュリ 0点。

フォルテ あんたのシヨートスリーパー設定どうなっちゃったの。

ジュリ いやこめつつや寝心地いいわ。

ローズ まあまあ、フォルテとかあんま時間ないでしょ。会議？しよつよ。

フォルテ というかローズ。

ローズ うん。なんともなかったわ。ゲヌオットじゃなかったみたい。

フォルテ いいね。

ダン で？

間。

ローズ え？ ガイ。

ガイ あ、俺なの。

ローズ そうでしょ。

サクラ ホストだし。

ガイ はいはい、じゃ、えーと、まあこの、昨日突如現れたこれ。名前も、まつわる説もいろいろ

出ておりますが、どうやら7つ集まっちゃうとどうにかなっちゃうかもしれない、というの

が現在の有力な説になっておりまして、ダン提唱の「集まれば願いが叶う」ポンポロデオー

ング派、イブキちゃん提唱の「集まると災いが起こる」ジャグー派、そんなのどっちでもい

い派、こんなのでなにか起こるとか信じてない派、よく分かんないけど楽しんでる派などな

どがうごめく現在のスパロウコープから、中継でお送りします。

結局みんなどう思う？

ねえ！

ふざけてる時間無いんだって。

ローズ スパロウコープはユーモアに寛大でありたい！

ガイ サクラちゃんさっきの中だと何派だった？

ジュリ ごめん、全然ちゃんと聞いてなかったわ。

サクラ 聞けー！

ガイ 二人に質問なんだけど、7つ集まったらなにになんていうのは、集まった時点で即なにかが

フォルテ 起きるの？

ダン それは……

イブキ 正確には分からないですが、絵本では7つのジャグーの上に煙がモクモクして、それを吸っちゃった人が災いにかかってました。

フォルテ 絵本か。

ダン 俺もイメージでは、7つ集まった瞬間に、こう、魔人みたいなのが現れて願い聞いてくれる、みたいな。

フォルテ イメージ。

ダン なに。

フォルテ いや、質問してみたけど全然進歩がなかった。

ダン そんなことないだろ。

フォルテ だって結局、どうなるか全くわかんないってことでしょ？

ダン ……まあそうだけど。

ローズ でもまあ、そもそもワケ分かんない感じで6つも集まっちゃってるわけだから、そりゃもう、

ジュリ わかんないよね。

ジュリ ん、これなんの会議？

ガイ まあとにかくさ、7つ集まっちゃったらどうするか、それを話し合おうよ。

フォルテ 今の話聞いてた？

ガイ なんだよ、聞いてたよ。どうなるかわかんないけど、それでも候補はあるわけだから、揃っちゃったときに備えて、みんなで話し合おうよ。

フォルテ 絶対意味ないって。

ガイ そんなことないよ。予防は大事だぞ。

サクラ ていうか、揃っちゃったほうがいいの？

ガイ え？

サクラ なんかそれ、うん！ ってやったら壊せそうじゃない？

ダン ……まあ。

サクラ みんな今の状態からの変化を望んでないならさ、揃わないようにしちゃえばいいじゃん。

ローズ たしかに。

ガイ いやそれは、

イブキ なんだかバチが当たりそうですよね。

ガイ そうだよ。7とか、七福神みたいで縁起良さそうだし。

ローズ 日本人は7でも8でも9でも縁起が良いって言うでしょ。

イブキ ……たしかに。

ダン でも壊したら壊した分だけ湧いてくるかもしれないぞ。

サクラ まさか。

ガイ 壊すのは、やめようよ。

ダン うん。

イブキ はい。

サクラ あ、そう。じゃあひとまず揃うのを待つわけね。

ガイ おう。さあ、じゃあシミュレーションしよう。

ジュリ なんの？

ガイ 揃ったときの。まずは願いの方のバージョンね。ちょっとイブキちゃん魔人やってよ。

イブキ え、はい。

フォルテ えー、実際にやるの？

ガイ やるよ。予行演習。まず、みんな、願いを一つ決めてください。で、7つ揃いました、魔人

出てきます、魔人が問う、「叶えてほしい願いを聞かせよ。」みんな言う。オーケー？

ダン オーケー。

フォルテ あんただけノリノリなものなんか腹立つわ。

ローズ 願いかー。

サクラ どうしよ。全然思いつかない。

ジュリ なんかね、すぐすぎる願い事は叶えてもらえないらしいよ。

サクラ え、不老不死とかムリ？

ジュリ 多分ムリだね。

サクラ 夢ないなあ。

ガイ まあ願い自体はおいおい決めてもらおうとして、一回やろう。イブキちゃんスタンバイ。ちょ

イブキ つとしゃがんで。
はい。(ト、テーブルの陰にしゃがむ)
ガイ おし、じゃあ行くよ。まず、7つ揃います。はい、揃った。その瞬間、魔人が出てきます。
イブキ 叶えてほしい願いを聞かせよ。
ガイ みんな、言う。

全員、口々に願いを言う。

イブキ ま、全くわからなかったので叶えてやることができない。さらばじゃ。(ト、しゃがむ)
ガイ ……失敗。と。いいねイブキちゃん。
ダン もうちょっと真剣に演じてほしいけどな。
ローズ というか意外と人間的な思考なんだね、魔人。
ガイ おし、次。今度は一人ずつ言おう。はい、7つ揃います、魔人出てきます、
イブキ 叶えてほしい願いを聞かせよ。その男から。
ガイ 毎日掃除しなくてもチリひとつないきれいなコーポになりますように。
ローズ なにそれ。
サクラ 考えてたんだ。
イブキ ん、よし。ん。
ダン あ、はい、納豆が食べられるようになりますように。
ローズ それもなんだ。
ガイ あ？
ダン まあまあ。
ジュリ ん、よし。ん。
イブキ あ、えーと、ビザの制度がなくなりますように。
ジュリ ん、ん？
ガイ あ、おい、悩んでるぞ。
ダン ちよっと大きすぎるかもしれない。
ジュリ えー、お願い。
イブキ んー、まあよし。
ガイ お。ん。
イブキ ん。
ローズ はい、度胸が身につきますように。
ダン お前こそなんだよそれ。
ローズ はあ、しょうがないでしょ？
サクラ 他人の願いにいちやもんつけるのやめよう？
イブキ よし。ん。
フォルテ 来週風邪を引きますように。
ローズ 願いとしてどうなの
サクラ ローズ。
イブキ んー。まあよし。ん。
サクラ 無理しないで生きられますように。
イブキ んん、
サクラ あれ？
イブキ 願いがぼんやりとしていて叶えてやることができない。さらばじゃ。(ト、しゃがむ)
ガイ おい。
サクラ。責めないでよ、しょうがないじゃん。
ガイ そうだけさあ。
ジュリ 連帯責任なの？
イブキ ちよっと、そうしてみました。
ローズ もう一回？
フォルテ イブキ。(ト、時計を示す)
イブキ ……あ。

フォルテ　ごめんけどあたしたち大学行かなきゃいけないから。
ガイ　あちよつと待って、まだちよつと行けるでしょ、ちよつと災いの方も一回だけやらせて。
フォルテ　いやいいでしょ別に。
ガイ　よくない。頼む。
フォルテ　……わかった、早くしよ。
ガイ　おし。
サクラ　なんか必死じゃない？
ローズ　ね。
ガイ　そしたら、7つ揃います、煙がモクモク出てきます。これを、吸わない！？
サクラ　ムリだこれ。
ダン　換気！
イブキ　災いを世間に撒き散らすのは……！
ローズ　じゃあどうすんの、
ジュリ　しゃがむ？

全員、
間。　しゃがむ。

ダン　で？
ジュリ　いや提案しただけ。
サクラ　いくら煙が上にのぼっていくからといえ、
ローズ　時間の問題だね、これじゃ。
イブキ　でもこれ名案かもしれない。みんな一斉にどうかなっちゃったら最悪大事故なんで、一人ずつ立ち上がって……、
サクラ　立ち上がって……？
イブキ　災いを浴びる。
ジュリ　めっちゃ覚悟いるー！
ダン　絶対ほかになにかあるよな、
ガイ　まあでも、急いでるから。一旦、煙出たら、みんなしゃがもう。おし、頼む、あと一回だけ。本番を想定したやつやらせてほしい。イブキちゃん、今から7つ揃うから、どっちかのパターン、やって。
イブキ　どっちかのパターン。
ガイ　願いの方なら魔人やって、災いなら煙！って叫んで。
フォルテ　あー、分かりました。
ガイ　ラストね。
ジュリ　オーケー。
サクラ　願い決まった？
ガイ　なんとなく。
ローズ　おし、みんな行くよ。覚悟してよ。
ガイ　おおげさな。
イブキ　はい、7つ揃いました！（ト、7つ目のオブジェをテーブルに出す）
煙！

全員、
間。　しゃがむ。

ガイ　あれ？
サクラ　おー。やっぱホストが先頭きって立ち上がるのか。
ガイ　あ、いやそうじゃなくて。
ダン　じゃあ次は……
イブキ　言い出しっぺなんで私が行こうと思います。皆さんは、もし私たちが大変なことになったら、しゃがんだまま、脱出を試みてほしいです。
ダン　イブキちゃんかっこいい。
ジュリ　うん。私も立つよ。

ローズ いや立つても意味ないんだよ。
ジュリ ……ああ、
ローズ イブキちゃんの覚悟を無駄にしないで。
ガイ 盛り上がりつてるとこ悪いんだけど、シミュレーション、終了です。
ダン おお。
サクラ どうしたの、なんか変じゃない？
ガイ あ、いや、うん。

各々立ち上がる。

フォルテ 行こう。
イブキ はい。
ローズ 意味あった？これ。
ジュリ 待って、これ、7個ない？
皆 え？
ダン ……ほんとだ、7体ある。
フォルテ はあー？
ローズ あるね。
イブキ なんですか？
ガイ 朝、起きたら、普通に、枕元にあって。
ジュリ マイナス1億点。
サクラ ていうか、なにも起こって……ない。

■8 【金曜日午後】

舞台上にフォルテ、イブキ、ガイを除く全員。
ダン はソファで就寝中。

ジュリ つまり、サクラちゃんは日本人で、旅する料理人で、たまたまこの前がカガドノに居ただけで、ピピドゥでもない、と。
サクラ そういうこと。
ローズ 理解まで時間かかりすぎ。
ジュリ ピピドゥになつてたのも知らなかったから。
サクラ だから、私のこれが、こんな遠くにあつても……（ト、シャカリキをテーブルに置きその場から離れる）なんか喋りかけて。
ローズ 晩ごはんなににする？
サクラ おー。シチューとかどう。
ローズ いいねえ。
ジュリ いいなあ。あたし全然サクラちゃんの料理食べてないよ。
ローズ さつき食べたじゃん。
ジュリ なんだっけ。チャー……
サクラ チャーハン。
ジュリ それだ。初めて食べた。
サクラ 美味しかった？
ジュリ うん！
ローズ まあまあ。
サクラ 「まあまあ」いただきました。
ジュリ フォルテ居たら怒られてるよ。
サクラ はは。……と、まあこんな具合に話せるわけですね。
ジュリ すごいね。
サクラ すごいねいよ。私が日本人ってだけで。
ジュリ そっか。

間。

ローズ　ゴメスが川で洗濯してたらメカゴメスが流れてきた、その先の話でも作る？
サクラ　いやもう飽きたわ。
ジュリ　遊び尽くしたね、これで。(ト、オブジェを指す) ポリゴメスはボディビルの大会で優勝したもんね。

サクラ　私は別にいいんだけどさ、二人はこれでいいの？
ジュリ　どういうこと？

サクラ　せっかく日本に来てるわけだし、なんかどっか行くとか、やるとか。

ジュリ　あー。あたしは別に旅行できてるわけでもないしなあ。

ローズ　私も、一昨日出る予定だったからここらへんは楽しみ尽くしちゃったんだよね。

サクラ　あー。もう明後日また出ちゃうのか。

ジュリ　意外と早かったね。

ローズ　うん。だから遠出もなあって感じだし。

サクラ　じゃあ、まあいいのか。

間。

ローズ　ダンー？

ジュリ　がつつり寝てるね。

サクラ　フォルテちゃんのベッドで。

間。

ローズ　ていうかこれのおかげで昨日楽しかったのかもしれない。
ジュリ　うん。もっとゆっくり集まってくればよかったのに。

サクラ　なんなのこれほんと。

ローズ　いや私いまだに、サクラが「テッテレー！」ってドッキリ大成功、みたいにやるんじゃないかと思ってるからね。

サクラ　ないない。タイミング逃しすぎでしょ。

ジュリ　サーボのネタとかで。

ローズ　ね。カガドノのお土産なんじゃないの？これ。

サクラ　違うよ。ほんとに知らない。だって、昨日、フォルテちゃんを買ってきたケーキの箱の中から出てきたんだよ？ そんなのマジックじゃん。

ジュリ　旅行の間にそんなスキル身につけててもおかしくないもんね。

ローズ　あやし。

サクラ　サーボならローズも怪しくない？

ジュリ　たしかに。置き土産だ。

ローズ　私も違います。

サクラ　ふうん。……結局なんにも起こらなかった。

ジュリ　ていうか願いごと。

サクラ　あー、うん。

ジュリ　ローズも、度胸？あるでしょ。

ローズ　分かってないなあ。

サクラ　まあ、願いごとの話は、いいんじゃない。

ローズ　サクラはなにを願うつもりだったの？

サクラ　……。

ダン　(起きていて) ローズ、お前そついうとこだよ。

ローズ　なに、納豆。

ジュリ　ちよつと……

ダン　ローズはさ、なんかたまに、人の大事なものを傷つけてると思うよ。

ローズ　言ってることがよくわかんないんだけど。

ダン　粹じゃないんだよ、お前。

ローズ　粹？日本大好きなあんたが言い出しそうなことだわ。

サクラ　昨日結構こいつと一緒に居たんだろ、なんか思わなかった？

サクラ う〜ん、別に……
 ダン ジュリだって付き合い結構になるから分かるだろ？
 ジュリ う〜ん、
 ローズ あるならはつきり言っよ。
 サクラ いや、明確に思い当たらないだけで。でも、無かったとも言い切れない。
 ジュリ うん。でもダンも気にしすぎじゃない？
 ダン いや、こいつは、なんか、雑なんだよ。別に話がつまないとか、趣味が合わないとかでもなくて、なんか、そこ外すか〜ってとこ外されるんだよね。それが、俺は、たまにしんどい。
 ローズ あんたの包容力の問題じゃない？
 ダン ガキじゃねえんだからさ、
 ローズ ねえ、いま言うべきこと？
 ダン 居なくなっちゃう前に言ってやったほうが親切だろうが。
 サクラ ストップストップ。二人とも。もう大人なんだから。ね？ それに、それは皆そうでしょ。
 サクラ あ、別に擁護してるわけじゃないから。
 ローズ あ、そう。
 サクラ この人たち、皆いい人だけど、みんなちょっと変なところあるよ。
 ジュリ ショック。
 サクラ ちよつとね。でも私だつてもちろん変なところあるし、そういう変なところが人それぞれ違うの
 ローズ つてなんか良くない？……こはさ、ただでさえいろんな国の人たち
 全員 ねえ待って、いい話しようとしてない？
 ローズ なんかもうスイッチ入っちゃったから言わせてもらうけどね、サクラ、あんただって鼻につくのよ。
 サクラ ？……だから私だつて変だつて
 ローズ そんなので免罪符になると思ってんじゃない！
 サクラ は？
 ローズ なんかにヒロインみたいな雰囲気まっちゃって、世界中の人が注目してるんですか？ そう
 サクラ ですか。気取ってんじゃないのよ。勝手に仕切るな新参者！
 ダン 嫉妬してるだけだろ。オメーだつて新参者じゃねーか。
 サクラ カッチーン。あんたこそ三流サーバーのくせしてなに調子こいてんのよ。
 ローズ 出た！ ほら、それが本音でしょうが。うまく隠せてます〜みたいな涼しい顔してんのマジダ
 ジュリ サいんですけど。
 サクラ ねえローズ、さすがに言っていいことと悪いことが
 ローズ なにそれ。世界旅してるから私は人間のことをよく分かってます、みたいな感じ？ そういう
 サクラ のを調子こいてるって言ってんの。だいたいパスポート洗濯とか四流五流バックパッカーじ
 ダン やないの。ダサ！
 ローズ だから、何流とか、そんなのは気にしてないんだつて。格とか評判とかプライドとかどーで
 サクラ もいいもんにしがみついてるあんたのほうがダサイんじゃない？
 ローズ なに？ なんでこんなことこんな雑魚に言われなきゃいけないわけ？
 ダン あんたのほうが雑魚だつてそろそろ自覚したら？
 全員 いいかげんにしろよ！
 全員 あんたが始めたんでしょ！

■9 【金曜日夜】

舞台上にはローズ、フォルテ。

フォルテ なにしてんのよ。
 ローズ ごめん。スイッチ入っちゃって。
 フォルテ いやそれ「カッとなってやりました」って言ってるのとなにも変わらないからね。
 ローズ ごめん。
 フォルテ まあそうやって謝れるだけマシなんだろうけど。
 ローズ なんか、どうしちゃったんだろね。普段はそんなこと言っとか選択肢にも拳がらないのにッ

ラツラ口について。あー私普段こんなこと思ってたんで喋りながら自分で思ってたすごい悲しくなった。
その言い方にも、出てるよ。なんか保身というか、自分守ろうとする感じ。
……。
なんかね、よく分かる。ローズ見てると。「あー、自分大事なんだろうなあ」って。たまに出てる。

ローズ そうなんだ。
気を悪くしたらごめん。てか悪くするよね。

ローズ フォルテに言われるのはなんか大丈夫なんだよね。そっか、そうなんだ。

フォルテ ぶっちゃけ、自分大事でしょ。

ローズ ぶっちゃけ、自分大事じゃない？

フォルテ まあ大事だけど。
逆に自分大事にしちゃいけない、みたいな空気がよくわかんない。

ローズ ほんとに？
ちよつとね。

フォルテ うーん、あたしも語れたもんじゃないけど、昨日ジュリと喋ってたことがあって。なんか、あたしは何でもかんでも自分だと思ってるのね。

ローズ っ、
大事にするのとはちよつと別ベクトルの自分というか。自分にとって悪いこと良いこと、なにが起きてても自分のせい、自分のおかげ。そう思うようにしてたらいつの間にかそう信じて。だから、なんていうのかな、良くも悪くも自分が大事でもない時があって、でね、でもこうやって自分主体で色々考えてると、その等身大の幸せしか掴めないんじゃないかって思ったの。昨日。

ローズ あー、うーん、つまり。

フォルテ つまり。えーと、人に迷惑をかけないように、とか、こうやって人がいっぱいいる社会で素敵に生きようと思って、自分次第で思うようにしたら、何でもかんでも自分が責任持ちます、みたいな感じになってきて、そこには、他の人たちの感情とか考えとか、存在含めて重要度がどんどん下がってきちゃった気がして。自分ひとりで生きてる、一人だけボートに乗って海に出て、みたいな感じになって、ジュリなんかはさ、皆で、質素かもしれないけど大勢乗ってる船で海にいる感じで、それが羨ましいとか思っちゃって。で、人の掴める幸せ、感じられる幸せはその船に乗せられる分しか得られないんじゃないかと考えて、そして、「あれ、あたしなんか寂しくない？」って思っちゃったのよ。(サクラに会釈する)

サクラ、入場していた。

サクラ おかえり。

ローズ 全然つまってないけど、言ってることは分かる。

フォルテ わかる？

ローズ 分かるけど、船と、自分大事云々のつながりがあんまり分かんなかった。

フォルテ そうね。

ローズ どうやったたらその大勢の船に乗れるの。

フォルテ うーん、「人と生きてるなあ」って、実感しながら生きてるか。

ローズ 実感してる。

フォルテ いや違うのよ。あたしだって実感してるつもりだけど、あたしたちよりもっと実感してる人たちがいるの。この世には。ていうか私も地元いたときはそうだったかも。だからさ、そう、そうだよ。自分も大事だし、大事にしないのも一人になっちゃうからダメで、そこは自由なんだろうけどさ、人と生きてるから、そういうのをあんまり出しちゃいけないというか、ああああああ！

ローズ なに！？

フォルテ 分かった、分かった。なんかさ、そういう保身、みたいな、「出しちゃいけない」みたいに思ってる？ あたしたち。

ローズ フォルテはわかんないけど私は思ってる。

フォルテ 思ってるじゃん、「出しちゃいけない」、「はしたない」って、気をつけちゃってるじゃん？ これがさ、なんか遅れてるんだよ、あたしたち。大勢の船に乗ってる人たちは、そんなこと全

く気にしてないっていうか、解き放たれてるっていうか、そもそも、出ないんじゃない。保身という概念そのものが。個じゃなくて全、みたいな？ でもそれって自分の幸せよりも全体の幸せってことでしょ？ 歴史的に見たらそっちのほうが遅れてない？

ローズ

あー。

フォルテ

こんな世界ごちゃまぜの時代に民族に囚われてる、みたいにも思うし。

ローズ

遅れてちゃダメなのかな？

フォルテ

え？

しょうがなくなる？ どっちもどちだよ。ないものねだりみたいな。感情だけで生きてるわけじゃないじゃない。お金とかいろいろある中で選択しながら皆生きてるからそりゃ全部が叶うことなんてないんじゃない？ どこかは遅れちゃうと思う。

フォルテ

……。

サクラ

し、そもそも「遅れてる」っていう概念自体が。

ローズ

遅れてる？

サクラ

かもしれないよね。

フォルテ

はあ。やられた。

サクラ

分かんないけど。私もバリバリ気にしちゃってるし、遅れてるなあって悩んだりするから。

ローズ

二重で遅れちゃってんだ。

サクラ

まあ突然ケンカふっかけたりするような人よりは人生うまくやっているとと思うけど。

ローズ

ごめんって。

サクラ

ふふ。でもほんととはわかんないし。自由に生きてたら、自然と適切な船に乗ってるんじゃないかなあ。

フォルテ

サクラさんは、その、ピピドウなわけじゃないですか。

サクラ

ああ、うん、そう。

フォルテ

失礼ですけど、ピピドウで、こうして海外に来れるっていうか、そもそもああやってサーボ

フォルテ

投稿できたりするのって、相当「進んでる」人だと思うんですよ。

サクラ

ああ、そうね。ありがたいことに。

フォルテ

ありがたい、ですか。

サクラ

うん。楽しいこといっぱい経験できてるなって思う。

フォルテ

そうですか……あの、あたし、チューキーなんです。

サクラ

え、そうなの？

フォルテ

はい、黙っててごめんなさい。それで、来週父が来るんです。多分ここに、私に会いに。

ローズ

あ、だから風邪とかなんとか言ってたの。

サクラ

かなりやばいね。

フォルテ

はい。どうしようってずっと悩んでました。でも、なんか、スッキリしました。

サクラ

そう。

フォルテ

ふふ。はあー！ 変な時間だけどあたしシャワーもらいまーす。

フォルテ

退出。

フォルテ

退出。

ローズ

焦らすね。

サクラ

いや、私の負けだわ。

ローズ

え、勝負してた？

フォルテ

え、勝負してた？

フォルテ

え、勝負してた？

フォルテ

え、勝負してた？

フォルテ

え、勝負してた？

暗転。

■10 【土曜日午後】

舞台上にイブキ、ガイ、フォルテ。

明転。

フォルテ

まさかイブキがCAになりたいなんてね。

イブキ

え、まさかの要素あります？

フォルテ

……たいそう自信がオアリのようです。

イブキ あ、いや、そういうんじゃない。仕事しながら海外回るってなったら一番最初に思い浮かんだので……。
フォルテ わぁ、イブキっぽい。
ガイ 国内線に配属されたりして。
フォルテ それもイブキっぽい。
イブキ なんです。やめてくださいよ。

ダン入場。

ダン おはよう。
三人 おはよう（ございます）。
ガイ 二人ももうじき帰ってくるかな。
イブキ そうだね、結局仲直りしてた？
ダン フォルテ まあ普通に会話するくらいには。
ガイ よかったな。
ダン あぁ、コーポに亀裂を生むところだった。

サクラ、ローズ入場。

ローズの手には2つの荷物。

ローズ たいま。
サクラ あ、ごめん、待たせちゃった？
ダン 大丈夫、今起きたとこ。
ガイ 手洗ってね。
サクラ はい。
ローズ あ、フォルテ、ケーキ冷やしといて。
フォルテ おっけー。

サクラ、ローズ退出。

ダン これ、なんだ？（ト、もう一つの荷物を指す）
イブキ なにか包装してありますね。
ダン ……軽い。

サクラ、ローズ入場。

サクラ あ、それ福引で当たったの。
ガイ へえ、すごいじゃん。
サクラ すごい人だったよ。
ダン あぁ、駅前の。今日オープンか。
ガイ なに？
ローズ ホームプラネタリウムだって。あげるよ。
4人 ……え？
ローズ プラネタリウムが家で見られるやつ。知らない？
ダン いや、知ってる。
ローズ 私持っても荷物になるだけだし。ここに置いてたらいじゃん。

間。

ローズ なに？
ガイ ローズ、退去おめでとう。（ト、手にプレゼントを持っている）
ローズ ? ありがと。（ト、受け取る）
フォルテ あ、開けなくていいよ。

ローズ なにが入ってんの？
 ガイ ホームプラネタリウム。
 ローズ え？
 ガイ プラネタリウムが家で見られるやつ。知らない？
 ローズ いや知ってるけど。どうしたのこれ。
 フォルテ ガイが前もって買って準備してたんだって。
 ローズ は？
 ダン アホだろ。
 ガイ いやあれだよ？ テントで眺めたら落ち着くだろうなあ〜っていう親切心からだからね？
 ローズ ありがとう。でもいらない。(ト、プレゼントを返す)
 ダン 言い方キツいけど同意するわ。
 ガイ きびし〜。
 イブキ やっぱ想像力があと一歩なんですよね。
 サクラ でもせっかくもらったから、明日みんなで見ようよ。
 ローズ そうね。お気持ちだけいだいたときます。
 ガイ はーい。と、いうわけで、仕事のジュリ以外はみんな揃ったね。えーと、明日、今度こそ、ローズがここを出ます。
 ローズ 日本を発つのはもう少し先なんだけどね。
 サクラ パスポート受け取ったりしなきゃいけないもんね。
 ガイ うん。
 ダン それで、今晚はみんな揃わないしパーティとかは特にやらないんだけど、明日の朝、儀式から変更して、ローズお見送り会を開催します。
 ローズ ザンダバは、またいつか、な。
 うん。
 えー、お見送り会では、みんなの願いをみんなで叶えます。
 ガイ なにそれ。
 サクラ せっかくこないだみんなの願い聞いたので、これは、良くも悪くもこの今の入居者の思い出っていうことで、それになぞらえて。
 ガイ そういうこと。だから、ダンは明日絶対納豆が食べられるようになります。
 ダン 俺ばっかりイジるのやめろー。
 フォルテ サクラさん、納豆を使った美味しい料理、なにか作ってもらえますか？
 サクラ ああ、みんなで叶えるってそういうこと。
 ダン よろしくおねがいします。
 サクラ おっけー、任せて。
 フォルテ ありがとうございます！
 ガイ ジュリのビザは僕らじゃムリなのでビザで勘弁してもらいます。
 ローズ 全然叶ってない。
 ガイ で、フォルテの風邪を引くってというのは、
 フォルテ あ、ごめん、それ変更するわ。
 ガイ 変更は受け付けられません。
 フォルテ なんでよ！
 ガイ 水風呂に30分入ったあとそのまま外に立ちっぱなしでいてもらいます。
 サクラ 修行じゃん。
 フォルテ 来週どこるかすぐに風邪引いちゃうんだけど。
 ガイ ごめん、言いたかっただけ。変えるの？
 フォルテ うん。
 ガイ なるべく早く決めてね。
 フォルテ 大丈夫、準備のいらないやつだから。
 ガイ なるほど。で、イブキちゃんから、願いの発表があります。はいどうぞ。
 イブキ あ、えーと、キャビンアテンダントになりたいです。
 サクラ おー、いいじゃん。
 ガイ いや七タじゃないんだから。
 ダン ほんとのボンポロデオニングだったら叶ってないな。
 ローズ 男子うるさいぞー。

ガイ ってなわけで、イブキちゃんは明日C Aになれます。
 イブキ やった。
 フォルテ あれ信じてるのかな。
 ダン ナゾだわ。
 ガイ で、サクラの無理しないで生きられるようになっていうのは、このままいく？
 サクラ ああ、うん。それでいいなら。
 ガイ おっけー。そしたら、問題はローズだけなんだよね。
 フォルテ 願いなんだっけ？
 ダン 度胸。
 ローズ そう、度胸が身につきますようにって言った。
 ガイ 度胸は一朝一夕じゃ身につきません！
 ローズ えー！ 私の送別会でしょ？
 ガイ 甘ったれたこと言ってんじゃねえぞー
 ダン 具体的な願いじゃないほうが悪い
 ガイ その感じで度胸ないってなんやねーん
 ダン イブキちゃんに弟子入りしろー
 サクラ いいぞ男子、もっとやれー
 ローズ ちよっと。
 ガイ いやほんとに、これみんなに相談です。なんかローズにしてあげようよ。
 サクラ 度胸でしょ。肝試しとか？
 ローズ そういう度胸じゃないんだよね。
 ダン 贅沢言うなー
 ガイ 反省しろー
 ローズ もう！
 フォルテ ドッキリとかサプライズしかないんじゃない？
 サクラ 危険じゃないやつが良いね。
 フォルテ そうですね。寝起きを襲いますか。
 ローズ サプライズめっちゃ聞こえてるんだけど。
 ダン いや、そういうのより、もっと迷惑なやつが良くない？ 朝起きたら私物が全部ないとか。
 ガイ それはさすがにかわいそうだろ。
 ローズ うん。
 イブキ 洗濯物が全部ビショビショとか……？
 フォルテ それだ。
 ダン いいねイブキちゃん。
 サクラ 地味に迷惑だね。
 ローズ いやめちゃくちゃ迷惑だけど。
 ガイ はい、じゃあローズは明日洗濯物がびしょびしょです。
 みんな はーい！
 ローズ はーい、じゃねえわ。
 サクラ ガイは？
 ガイ あ、えーと、僕は、魔人役になってしまったので、願いが叶うことはありません。
 ダン それは仕方ないな。
 ガイ 皆さんは汚いコーポでこれから暮らしてください。
 みんな はーい！
 ローズ はーい、じゃねえわっ。
 ガイ それでは明朝再集合、解散！

暗転。

■ 11 【日曜日朝】

舞台上に全員。
明転。

ガイ はい、みなさん準備はいいですか。
 全員 はい。
 ガイ 順番だけでもういっかいおさらいさせて。ダン、イブキちゃん、ローズ、ジュリ、サクラ、フ
 オルテね。おっけー？
 全員 オッケー。
 ガイ そしたら一人一つ持って。これから先はサクラが仕切ります。(ト、しゃがむ)
 サクラ はい。じゃあいくよ。7つ、揃いました(全員でテーブルにオブジェを置く)……！
 ガイ 叶えてほしい願いを聞かせよ。
 ダン はい、納豆が食べられるようになりますように。
 ガイ ん。
 サクラ はい。納豆の〇〇。
 ダン 見た目は美味しそう。
 フォルテ 失礼な。味だって良いに決まってるでしょ。ほら、箸。
 ダン ありがとうございます。……いただきます。

ダン、
実食。

ジュリ アレ言って。
 ダン ……納豆、美味しいよね。
 イブキ おー！！
 ガイ バッチリだな。
 ダン これマジでうまいわ。ありがとう。
 サクラ どういたしまして。はい、次！
 ローズすごいテンポよく進むのね。
 ガイ 叶えてほしい願いを聞かせよ。
 イブキ はい、キャビンアテンダントになれますように。
 ガイ ん。
 サクラ はいこれ首に巻いて。
 イブキ こう……ですか？
 フォルテ 似合ってる。
 ジュリ アレやってよ。飛行機お決まりのやつ。救命胴衣。
 何人か あゝ。
 イブキ え、わかんないです。
 サクラ こういうやつよ。「非常の際は、座席下のポケットから救命胴衣を取り出し、頭から被ります。
 装着後は両側の紐を引き膨らませてください。空気が足りない場合はゴム管から吹き込みま
 す。」(ト、ガイ、イブキ以外の全員で実演する)
 ガイ おゝ、みんな流石だな。
 ジュリ はい、やって！
 イブキ 「非常の際は、座席下のポケットから救命胴衣を取り出し、頭から被ります。装着後は両側
 の紐を引き膨らませてください。空気が足りない場合はゴム管から吹き込みます。」
 サクラ いいね！ もっCAだよ！
 フォルテ ほんとですか？ やった……！
 ダン 信じてるっばいね。
 サクラ うん。
 サクラ はい、次！
 ガイ 叶えてほしい願いを聞かせよ。
 ローズ はい、えーと、度胸が身につきますように。
 ガイ ん。
 サクラ はい洗濯物出して。
 ローズ マジでこれだけで勘弁して。(ト、洗濯物を取りだす)
 サクラ えゝ、少ないなあゝ。まあいいや、ビシヨビシヨ隊出動！
 何人か ラジャー。シュッシュ、シュッシュ。(ト、霧吹きをかける)
 ローズ 意外と優しいな。
 ジュリ ビシヨビシヨになりました！

サクラ よし、度胸ついたね。次！
ガイ 叶えてほしい願いを聞かせよ。
ジュリ はい、ビザの制度がなくなりますように。
ガイ ん。
サクラ はいピザ食べて。
ジュリ ん、おいしい！
サクラ うん。その笑顔100点。次！
ガイ 叶えてほしい願いを聞かせよ。
サクラ あ、私か。無理しないで生きられますように。
ガイ ん。
ダン はい無理しない。
ローズ リラックスリラックス。
フォルテ 深呼吸。
サクラ スーハー。
ジュリ よしおつけい。
サクラ いや待てー！
ガイ なんだよテンポよく進んでたのに。
サクラ 私は流されないよ！流石にこれは叶ってない。
ローズ え？
サクラ というかダンしか叶ってない。
ガイ この笑顔は？（ト、ジュリを指す）
サクラ 100点。
ダン じゃあいいじゃん。
サクラ ん？ん？ん？ん？ん？
フォルテ どうしたの？

ジュリ、オブジェの玉をパクリと口に入れる。

フォルテ なにしてんの？
ジュリ やっぱり。ねえ、これ、なんとなく思ってたんだけど、やっぱりガムだね。
全員 え？
ガイ どれどれ。（口に入れる）……ホントだ。
イブキ ……オレンジですね。
フォルテ え？
ダン ほんとだ。ガムだ。
ローズ うん。
フォルテ ガムだね。

間。

サクラ ……え？
ガイ いや、あと一個だなあと思って。
サクラ だね。

間。

サクラ いや噛まないよ？
全員 えー？
ジュリ サクラちゃん。
ガイ ガム克服したいんじゃないの？
サクラ いや噛むことはできるのよ。好きじゃないだけで。
ガイ じゃあ。
全員 うん。
サクラ いやだ。

ローズ サクラ〜!!
サクラ や、ちょ、やめてよ、ほんと。
ダン 捕まえるー!
フォルテ やめなさいよ。
ガイ みんなの一体感のためだ、諦めろっ!
サクラ そういうのほんと良くないと思う! 悪しき風習!
ローズ はい、あーんして、
サクラ 絶対しないから、
フォルテ ちよっと、マジで、
ジュリ ちよっとサクラちゃん!
サクラ え?

ジュリ、手にサクラのシャカリキを持っている。

全員 ……あ。

サクラ いや、ほんと、やめて、まじ、ガム、むり!

ガイ か、観念しろっ!

ローズ はい、口開けてっ!

サクラ これ噛んでも好きになったことにはならないからね?

サクラ、オブジェの玉をパクリと口に入れる。

ガイ コーポの一体感に拍手。

ローズ おめでとー。

全員拍手。

サクラ うげ。はい、みんな出して。……次。

ダン ……ラストだね。

ガイ ゴホン、……えー、叶えてほしい願いを聞かせよ。

フォルテ はい、サクラさんがずっとコーポに居ますように。

間。

ジュリ バシてた〜!

ローズ サクラ〜!

サクラ いや昨日の時点で多分バシてた。

フォルテ はい。

ダン ていうかどういいう願いだよ。

フォルテ えー? なんか全然思い浮かばなくて。風邪引くのもやだし。

ガイ そんなあなたに朗報です。

サクラ はい、しばらくは居ます。ていうか、わたし、このオーナーです。

全員 えっ?

サクラ だから、そんなこと言われちゃったら、フォルテちゃんがいる間ずっとここにいるね。

フォルテ わぁ……!!

イブキ オーナーさん。

サクラ うん。イブキちゃんも、改めてよろしくね。

ローズ というか、あたしたちのおかげであんた生きてんじゃん。

ダン おいローズ。

サクラ は、ここ以外にも不労所得のオンパレードだし。

ジュリ も〜。

ローズ けー。恵まれてるヤツ。

サクラ というかこんな安い宿代をありがたく思いなさいよ。

みんな あ、ざー……す。

ガイ はい、ということ。皆さんの願いが無事叶いましたね。
 サクラ あ、オーナー命令で、ガイは毎日コーポを掃除すること。
 ガイ ……はーい。
 イブキ 当然でしたね。
 ジュリ うん。
 ダン おし。見るか。星。
 フォルテ おーし！
 ジュリ 楽しみだなく初めてだよ。
 サクラ おつかれ。
 ガイ うん。まあ、良かったね。
 サクラ うん。
 イブキ ローズさん、これ、どうぞ。（ト、DVDを渡す）
 ローズ なに？ ビデオレター？
 イブキ はい、皆さんからいただきました。
 ローズ ありがとう！ え、いま見ていい？
 ダン いや、頼むからどっか行ってから見てくれ。
 フォルテ うん、そうして。
 イブキ はい、ぜひ。
 ローズ なに。分かったけど。
 ジュリ え、2つ？
 フォルテ あえて。
 ジュリ あえて？
 フォルテ あえて、2つ。
 ジュリ ……分かった。
 サクラ じゃ、電気消すよー？
 何人か はーい。
 フォルテ そっち点けてね。
 イブキ はい。
 サクラ せーの！

暗転。2つのプラネタリウム点灯。

全員 ……なんか思ってたのと違う。

■12 【後説】

桑森による後説。

桑森 ジャカッと雀「しゃかりきしゃにむにしゃがむガム」ご観劇ありがとうございました。以上
 を持ちまして、雀工業新製品「シャカリキ」プロモーションドラマ上演会を終了とさせていただきます。
 製品に関するご質問、ご要望、また上演作品のご感想などは、お手元のアンケート
 ートにご記入いただくか、後ほどロビーにて出演者、弊社職員へお伝えくださいます。それ
 では、本日はご来場誠にありがとうございました。お氣をつけてお帰りくださいませ。

終。